

<<報道資料>>

2013年3月13日

日本コンピュータ株式会社

トップアナリスト企業が、 コンピュータの新しいメインフレームソリューション Compuware APM for Mainframe を称賛

メインフレームとオープン系の壁を壊し、
問題解決にかかる時間の短縮とCPUコスト削減を実現

※当資料は、コンピュータ コーポレーションが米国時間 2013年2月28日に発表した報道資料の抄訳です。

米国ミシガン州デトロイト - 2013年2月28日発表 - コンピューウェア コーポレーション (NASDAQ: CPWR) は、本日、業界有数のアナリスト企業である Ptak, Noel & Associates が、分散環境からメインフレームまで、アプリケーションデリバリーチェーン全体を可視化する [Compuware APM for Mainframe](#) がもたらすメリットに関するレポートをリリースしたと発表しました。このソリューションは、Compuware APM の特許取得済み [PurePath Technology](#) による CICS サポートに加え、メインフレーム分析ソリューションである [Strobe](#) と融合させたものです。導入企業は、パフォーマンス問題をより迅速に解決し、MIPS コストを削減し、ハードウェアアップグレードにかかる時間と労力を削減し、新しいアプリケーションのリリースを短縮することが可能となります。

Ptak/Noel は、『[Compuware APM for Mainframe: Application Performance Management to connect distributed and mainframe environments](#)』(英文のみ)と題されたレポートにおいて、多くの IT 企業が直面する課題について触れています。それは、オープン系担当とメインフレーム担当が、両担当部門が利用しているテクノロジーが以前よりも関連性を高めているにも関わらず、お互いにほとんど連携できていないというものです。このような状況でアプリケーションの問題が発生した場合、どちらのインフラが原因となっているのかが不明な状況が、数時間あるいは数日にわたって続くこととなります。

同レポートの中で Ptak/Noel は次のように述べています。

「Compuware APM for Mainframe により、企業が問題を解決する手法が革命的に変わった。今や企業は、問題の根本原因を特定するためのツールを部門間で共有することができるようになった。以前、ある銀行では、問題の解決方法を決定するまでに 40 人時間を要していた。ところが、コンピュータの新製品を利用するようになった現在、それをたった 15 分にまで短縮したのだ」

Ptak/Noel は、例えば、分散型アプリケーションとメインフレームが互いのパフォーマンスに与える影響を的確に可視化する仕組みなど、Compuware APM for Mainframe がもたらす様々なメリットについても言及しています。同社は、「Compuware APM for Mainframe は、開発者に対し、パフォーマンスを最適化し CPU コストを削減する上で、アプリケーションのチューニングや再設計を支援する、『コスト削減のための有益なツール』である」とレポートしています。

コンピュータのメインフレームソリューションズビジネスユニットのゼネラルマネージャー兼シニアバイスプレジデントである Kris Manery は次のように述べています。

「Ptak/Noel のレポートでは、IT 部門が直面するコストや効率化の課題を、Compuware APM for Mainframe が見事に解決している点についても、明らかにされています。すべての分散処理層において、またメインフレームの内部に至るまで、パフォーマンスをリアルタイムで可視化できる製品は他にありません。この新世代 APM は、オープン系担当とメインフレーム担当の交流や協調を促進し、パフォーマンス問題を解決します。そして、パフォーマンス向上とコスト削減を同時に実現できるようなアプリケーションの評価、修正、再設計する手法を根本から変えることとなるでしょう」

■ Compuware APMについて

Compuware APMは、Web、非Web、モバイル、ストリーミング、クラウドアプリケーションといった様々なアプリケーションのパフォーマンス最適化を実現する業界屈指のソリューションです。エンドユーザー体感に基づき、ユーザーが利用するブラウザから、クラウドを通じてデータセンターにいたる、アプリケーションデリバリーチェーン全体の統一ビューを提供します。

コンピュータは、全世界で4,000以上の顧客企業が存在し、[Gartner『Magic Quadrant for Application Performance Monitoring \(APM\)』](#)において、「リーダー」に位置づけられています。詳しい報告書はこちらから参照できます：<http://bit.ly/q5jKi7>（英文のみ）

■ コンピュータのメインフレームソリューションについて

市場を牽引するコンピュータのメインフレームソリューション、[Abend-AID](#)、[File-AID](#)、[Xpediter](#)、[Hiperstation](#)、[Strobe](#)は、開発者の生産性の最大化、コストの最小化、より良いサービスの提供を支援します。これらのソリューションは、従来のTSO/ISPF環境においても、また、直感的かつ現代的なインターフェースを誇るオープン開発環境である[Compuware Workbench](#)の一部としても利用できます。Compuware Workbenchは、アプリケーションの開発、テスト、調整を迅速化・単純化し、経験あるメインフレーム技術者でも新人でも作業しやすい環境を提供しているため、企業は現状のリソースを用いて、新たなサービスをより迅速、効果的、かつ高品質で提供できるようになります。

コンピュータは、Twitter、Youtube、Facebook などからも情報を配信しています。

- ・<http://twitter.com/compuware>（米国本社アカウント：英語）
- ・http://twitter.com/compuware_japan（日本コンピュータアカウント：日本語）
- ・<http://www.youtube.com/user/Compuware>（米国本社アカウント：英語）
- ・<http://www.facebook.com/Compuware>（米国本社アカウント：英語）
- ・<http://insidetechtalk.com/>（Inside Tech Talk：英語）

■ コンピュータコーポレーションについて

コンピュータは、‘The Technology Performance Company’として、IT が問題なく稼働し、ビジネスに貢献するための、ソフトウェア、エキスパート、ベストプラクティスを提供します。コンピュータのソリューションは、全世界のリーディングカンパニーが IT を最大限活用できるように支援しています。これらのリーディングカンパニーには、Fortune 500 上位 50 社のうち 46 社や、米国の Web サイト企業上位 20 社のうち 12 社が含まれています。

- ・米コンピュータコーポレーション <http://www.compuware.com>（英文）
- ・日本コンピュータ株式会社 <http://compuware.co.jp/>

■ お問い合わせ先

・報道関係の方

日本コンピュータ株式会社広報事務局 (株式会社ジャパン・カウンセラーズ内)

TEL:03-3291-0118、Email:compuware@jc-inc.co.jp

・Compuware APM ソリューションをご検討の方

日本コンピュータ株式会社営業部代表

TEL:03-5473-4531、Email:marketingjapan@compuware.com

※記載されているすべての製品名および会社名は各所有者の商標です。